

作成日 2021/10/20
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|-------|--------------------------------|
| 製品名 | カーシャンプー バケツ入り 固形 |
| 会社名 | 株式会社MonotaRO |
| 所在地 | 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階 |
| 担当者名 | 商品お問合せ窓口 |
| 電話番号 | 0120-443-509 |
| FAX番号 | 0120-289-888 |
| 整理番号 | M211020 |

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

| | |
|-------|---|
| 健康有害性 | 急性毒性(経口) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 生殖毒性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(消化管) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(中枢神経系) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器 神経系) |
| 環境有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。 |

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370 消化管の障害
H371 中枢神経系の障害のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)

| | |
|------|--|
| 応急措置 | 環境への放出を避けること。(P273) |
| | 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280) |
| | 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312) |
| | 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352) |
| | 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) |
| | 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) |
| | ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313) |
| | 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314) |
| | 口をすすぐこと。(P330) |
| | 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313) |
| 保管 | 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313) |
| | 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364) |
| | 漏出物を回収すること。(P391) |
| 廃棄 | 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233) |
| | 施錠して保管すること。(P405) |
| | 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501) |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 混合物 | | CAS番号 |
|------------------------------|----------|---|--|-----|------------|
| | | | 官報公示整理番号 化審法 | 安衛法 | |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム | 26.0% | 不明 | (3)- 1884,(3)- 1906,(3)- 1949 | 既存 | 25155-30-0 |
| ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸エステルナトリウム | 1.0～5.0% | 不明 | 不明 | 不明 | 68891-38-3 |
| ホウ酸ナトリウム | 7.2% | Na ₂ B ₄ O ₇ · 10H ₂ O | (1)-69 | 既存 | 1303-96-4 |

4. 応急措置

吸入した場合

吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
 呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
 眠気やめまいの症状が出た場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態で休息させる。
 呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
 吸入の影響が遅れて現れることがある。
 上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること

| | |
|-----------|---|
| 皮膚に付着した場合 | 直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。 直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。 気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。 皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。 衣服等に付着した場合は、脱いで皮膚の付着した部分を十分に洗い流す。 汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。 |
| 眼に入った場合 | 清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。 洗浄後、医師の診断を受けること。 激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 直ちに水で口の中を洗浄する。 直ちに医師の診断を受けること。 無理に吐かせないこと。 子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。 必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。 |

5. 火災時の措置
適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

火災時の特有の危険有害性

当該製品は[分子中にN,P,S,ハロゲン]を含有しているため火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）を放出する。

特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行なう。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
作業の際には保護具(必要に応じてガスマスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
多量の場合、人を安全に待避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法 回収、中和
及び機材

少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
火花を発生しない安全な用具を使用して、密閉できる容器に回収する。
アルカリ性の製品なので、必要があれば酸(希塩酸、希硫酸等)で中和する。
回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。
漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
容器を密栓すること。
日光から遮断し、40°Cを超える温度に暴露しないこと。
施錠して保管すること。
酸と一緒に保管してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

| | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会) | 許容濃度(ACGIH) |
|------------------------------|------|------------|---|
| ホウ酸ナトリウム | 未設定 | 未設定 | TWA 2 mg/m ³ (l), STEL 6 mg/m ³ (l) |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸エステルナトリウム | 未設定 | 未設定 | 未設定 |

設備対策

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

| | | |
|-----|-----------|---|
| 保護具 | 呼吸用保護具 | 保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。 |
| | 手の保護具 | 保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用する。 |
| | 眼、顔面の保護具 | 保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用する。 |
| | 皮膚及び身体の保護 | 保護衣、保護前掛け等を着用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|-------------------|------------|-------|
| 物理状態 | 固体 | |
| 形状 | 固体 | |
| 色 | 白色 | |
| 臭い | 原料臭 | |
| 融点／凝固点 | データなし | |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | データなし | |
| 可燃性 | データなし | |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | データなし | |
| | 上限 | データなし |
| 引火点 | 引火せず | |
| 自然発火点 | なし | |
| 分解温度 | データなし | |
| pH | 8.4(1%水溶液) | |
| 動粘性率 | データなし | |
| 溶解度 | 水に溶解 | |
| n-オクタノール／水分分配係数 | データなし | |
| 蒸気圧 | データなし | |
| 密度及び／又は相対密度 | データなし | |
| 相対ガス密度 | データなし | |
| 粒子特性 | データなし | |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------------|
| 反応性 | 通常の取扱いにおいては安定である。 |
| 化学的安定性 | 通常の手扱いにおいては安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 特になし |
| 避けるべき条件 | 特になし |
| 混触危険物質 | 特になし |
| 危険有害な分解生成物 | 特になし |

11. 有害性情報

| | | |
|-------------------------------------|----|---|
| 急性毒性 | 経口 | 急性毒性推定値が1195.8677262mg/kgのため区分4とした。 |
| | 経皮 | 急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。 |
| 皮膚腐食性／皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 | 吸入 | 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 区分2の成分合計が34.2%のため、区分2とした。 眼区分2Aの成分合計が26%のため、区分2Aとした。 |
| | | 呼吸器感作性 |

| | | |
|-----------------|---|--|
| 皮膚感作性 | | 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 |
| 生殖細胞変異原性 | | 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 |
| 発がん性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 生殖毒性 | | データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) 区分1Bの成分が7.2%のため、区分1Bとした。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | | 区分1(中枢神経系)の成分が7.2%のため、区分2(中枢神経系)とした。 区分1(消化管)の成分が40%のため、区分1(消化管)とした。 区分3(気道刺激性)の成分合計が33.2%のため、区分3(気道刺激性)とした。 ※区分2(消化器系)は1%含まれる。 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | | 区分1(呼吸器)の成分が7.2%のため、区分2(呼吸器)とした。 区分1(神経系)の成分が7.2%のため、区分2(神経系)とした。 |
| 誤えん有害性 | | 粘粘性率が不明のため、分類できないとした。 |
| 12. 環境影響情報 | | |
| 水生環境有害性 短期(急性) | | 区分1×毒性乗率の成分合計が26%のため、区分1とした。 |
| 水生環境有害性 長期(慢性) | | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が10%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 |
| 生態毒性 | | データなし |
| 残留性・分解性 | | データなし |
| 生体蓄積性 | | データなし |
| 土壤中の移動性 | | データなし |
| オゾン層への有害性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 残余廃棄物 | | 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |
| 14. 輸送上の注意 | | |
| 国際規制 | 海上規制情報 Marine Pollutant Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code | 非該当 applicable Not applicable |
| 国内規制 | 航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属 書II 及びIBC コードに よるばら積み輸送さ れる液体物質 航空規制情報 | 非該当 非該当 非該当 該当 非該当 非該当 |
| 緊急時応急措置指針番号 | | 非該当 なし |

| | |
|---|--|
| <p>15. 適用法令 労働安全衛生法</p> | <p>名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)</p> |
| <p>毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)</p> | <p>ほう酸及びそのナトリウム塩(政令番号:544) (1%-10%) 非該当 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム(政令番号:409)(1.0%) 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)(政令番号:30)(26%)</p> |
| <p>化審法 水質汚濁防止法</p> | <p>優先評価化学物質(法第2条第5項) 有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)</p> |
| <p>大気汚染防止法</p> | <p>有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)</p> |
| <p>海洋汚染防止法</p> | <p>有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)</p> |
| <p>外国為替及び外国貿易法 水道法</p> | <p>輸出貿易管理令別表第1の16の項 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)</p> |
| <p>下水道法</p> | <p>水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)</p> |
| <p>土壌汚染対策法</p> | <p>特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)</p> |
| <p>16. その他の情報 参考文献</p> | <p>製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。</p> |
| <p>その他</p> | <p>危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。</p> |